

▼ペクティビックス点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 パニツムマブ (遺伝子組換え) Panitumumab (Genetical Recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体]

【単位】 ▼100mg/5mL, ▼400mg/20mL

【常用量】 2週間に1回6mg/kg

【用法】 60分以上かけて点滴静注 [生食で調整]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【その他の報告】 PKは腎機能により変化しない (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

用量調節不要 (Liao MZ, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2021 PMID: 34213592)

【特徴】KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に適用される遺伝子組換え型ヒト型IgG2モノクローナル抗体で、ヒトEGFR発現細胞のEGFRに対して特異的かつ高親和性に結合しEGFRに対するリガンドの結合の阻害及びEGFRの内在化が誘導。RAS (KRASおよびNRAS) 遺伝子変異の有無を考慮して適応患者の選択を行う。

【主な副作用・毒性】 Infusion reaction [アナフィラキシー、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等]、SJS、TEN、低Mg血症、低K血症、低Ca血症、ざ瘡、皮膚乾燥、発疹、そう痒、爪囲炎、口内炎、食欲不振、下痢、結膜炎など多数。

【代謝】 ペプチドやアミノ酸に分解されると推定 (1)

【排泄】 尿中回収率90%以上 [サル] (1)

【CL】 クリアランスは用量依存的に低下し、2.5mg/kg投与時17.4mL/day/kg、9mg/kg投与時5.92 mL/day/kg (1) 1.97±0.953mL/day/kg (1)

【t1/2】 ke=0.047/day (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 42mL/kg (1) 主に血中に存在 (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

【MW】 23,353.63

【透析性】 分子量が大きく透析されないとと思われる (5) 資料なし (1)

【薬物動態】 ターゲット受容体に依存して非線形で消失 (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247)

【肝障害患者における情報】 PKは肝機能低下の影響を受けない (Yang BB, et al: Clin Pharmacokinet 49: 729-40, 2010 PMID: 20923247) Child-Pugh クラスBの肝障害患者でも用量調節の必要はなかった (Krens LL, et al: Cancer Chemother Pharmacol 73: 429-33, 2014 PMID: 24258455)

【更新日】 20221229

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。